

- 五所川原市は「五所川原市地域公共交通計画」において、人口減少・少子高齢化社会に対応していくため、まちづくりと連携した交通体系の構築や、公共交通を支える体制づくりの強化、また交通資源を有効に活用するなどの取組を推進している。
- タクシー事業者のいない地域における官民連携による公共ライドシェアの導入や、路線バスとスクールバスを統合して現存する交通資源を有効活用しサービスレベルを維持することにより、持続可能な地域公共交通の維持確保を図る。

事業の内容

①金木地域公共ライドシェアの導入

- ・タクシー事業者のいない金木地域において、市が主体となって公共ライドシェアを実施
- ・運行は金木商工会が担い、官民連携により地域の足を確保
- ・予約・配車システムにAIを用いることで、効率的な運行を実施
- ・自宅と各目的施設（公共施設、各地区コミュニティーセンター・集会所等）の間を運行

②路線バスとスクールバスの統合

- ・路線バス藻川線に、三好地区スクールバスを統合し、中学生が登下校のために利用
- ・中学生の部活動帰りの需要に対応するため1便増便
- ・定期機能を有するICカードを中学生に配付・活用してもらうことで、スクールバスが運行していなかった土日祝日、夏休み及び冬休みの部活動や課外活動の際にもバスが利用可能

事業の効果

(事業①関係)

- ・金木地域におけるAIデマンドを活用した自家用有償旅客運送事業の活用による利便性の向上及び公共交通の利用促進

(事業②関係)

- ・路線バス藻川線とスクールバスの統合により、重複する輸送体系の効率化を行い、持続可能な路線を形成
- ▶上記により、利便性の高い公共交通網の構築を図り利用促進につなげ、計画の指標達成に寄与

- ・作成自治体：青森県五所川原市
- ・事業実施予定期間：令和7年度～令和10年度

- ・事業実施区域：五所川原市全域

